

平成 19 年度事業報告

(1) 実務修習の実施状況等

第 1 回実務修習は、平成 18 年 12 月から、1 年コース 425 名、2 年コース 95 名、3 年コース 6 名の計 526 名の実務修習生を迎えて実施いたしました。一般実地演習第 3 回報告（平成 19 年 11 月末）をもって、1 年コース 332 名の実務修習生が実務修習の全課程を修得されました。

第 2 回実務修習は、平成 19 年 12 月から、1 年コース 144 名、2 年コース 60 名、3 年コース 4 名の計 208 名の実務修習生を迎えて実施しています。

なお、実務修習生の各課程の単元の認定に当たっては、13 回に亘る実務修習審査会を開催し、それぞれ課程別の審査基準に基づき、適正に審査を実施いたしました。

実務修習の各課程の実施状況等は次のとおりです。

① 不動産の鑑定評価の実務に関する講義（以下、「講義」という。）

	開催日	開催場所	主な対象者
後期	平成 19 年 6 月 11 日(月) ～6 月 15 日(金)	テーオーシー有明(東京)	第 1 回修習生
前期	平成 19 年 12 月 10 日(月) ～12 月 14 日(金)	サンシャインシティ(東京)	第 2 回修習生

② 基本演習

	開催日	開催場所	主な対象者
第二段階	平成 19 年 5 月 10 日(木) ～5 月 12 日(土)	テーオーシー(東京)	第 1 回修習生
	平成 19 年 5 月 20 日(日) ～5 月 22 日(火)	天満研修センター(大阪)	第 1 回修習生
第三段階	平成 19 年 8 月 2 日(木) ～8 月 4 日(土)	テーオーシー(東京)	第 1 回修習生
	平成 19 年 8 月 9 日(木) ～8 月 11 日(土)	天満研修センター(大阪)	第 1 回修習生
第一段階	平成 20 年 3 月 6 日(木) ～3 月 8 日(土)	ベルサール西新宿(東京)	第 2 回修習生
	平成 20 年 3 月 13 日(木) ～3 月 15 日(土)	新大阪ワシントンホテルプラザ(大阪)	第 2 回修習生

③ 実地演習

実務修習生の物件調査実地演習及び一般実地演習の報告は、1 年を 3 期に分け、実務修習生が選択した実務修習期間別に報告が行われました。

(2) 修了考査の実施

第1回修了考査は、第1回実務修習1年コースの方を対象にして、平成20年1月28日(月)から2月2日(土)にかけて実施いたしました。実務修習の単元を修得した実務修習生329名が受験し、269名の実務修習生が実務修習を修了されました。

(3) 平成19年度実務修習実施計画の公表

実務修習業務規程第6条に基づき、第2回実務修習の実施に向けて、「平成19年度実務修習実施計画」を策定し、平成19年9月に本会ホームページにおいて公表いたしました。

(4) 実務修習教材の作成

第2回実務修習に向けて、講義、基本演習及び実地演習の各課程の教材が適正且つ最新の内容となるように検討を行い、各課程のテキストを改訂・作成いたしました。

(5) 一般実地演習の「鑑定評価報告書の審査重点事項」等の改定

第1回実務修習・一般実地演習の実施結果を踏まえ、一般実地演習の審査基準となる「鑑定評価報告書の審査重点事項」について検討を行い、同重点事項を改定いたしました。

なお、平成19年11月にこれを公表し、同審査重点事項に基づく審査を開始しています。

また、この審査基準の改定に併せて、一般実地演習・実地演習内訳報告書の様式についても改定を行いました。

(6) 講義及び基本演習の実施要領の改定

第1回実務修習の実施結果を踏まえ、講義及び基本演習課程の実施要領について検討を行い、①講義の確認テストの採点方法、②基本演習の審査における採点配分、を改定すべく実施要領を改正いたしました。

平成19年度実務修習特別会計収支決算書

自 平成19年4月 1日
至 平成20年3月31日

収入総額 175,068,637 円
(内前期より繰越金 10,381,637 円)
支出総額 130,546,152 円
差引繰越金 44,522,485 円

収入の部

単位:円

大科目	中科目	予算金額	実績金額	過不足金額	説明
修習料収入		192,740,000	153,498,000	39,242,000	第2回申込者208名
	講義料収入	71,750,000	53,760,000	17,990,000	第1回7万円×525名・14万円×18名 第2回7万円×207名
	基本演習収入	71,530,000	56,130,000	15,400,000	第1回9万円×514名・14万円×3名 (辞退者3名分含む) 第2回9万円×192名
	審査料収入	49,460,000	43,608,000	5,852,000	みなし履修審査料・一般実地演習審査料 物件調査審査料
修了考査料収入		12,000,000	9,870,000	2,130,000	
	修了考査料収入	12,000,000	9,870,000	2,130,000	
雑収入		500,000	1,319,000	△ 819,000	
	雑収入	500,000	1,319,000	△ 819,000	テキスト頒布及び 実務修習生証再発行手数料
当期収入額合計 (A)		205,240,000	164,687,000	40,553,000	
前期繰越収支差額		10,381,637	10,381,637	0	
収入額合計 (B)		215,621,637	175,068,637	40,553,000	

支出の部

単位:円

大科目	中科目	予算金額	実績金額	過不足金額	説明
事業費		169,000,000	97,070,144	71,929,856	
	会場費	61,000,000	39,153,339	21,846,661	
	教材費	22,000,000	8,854,247	13,145,753	
	講師謝金	22,000,000	12,969,675	9,030,325	
	審査費	39,000,000	30,396,243	8,603,757	
	印刷費	7,000,000	2,058,067	4,941,933	
	郵送費	9,500,000	2,791,156	6,708,844	
	システム運用費	6,000,000	0	6,000,000	
	旅費交通費	1,500,000	21,560	1,478,440	
	雑費	1,000,000	825,857	174,143	
管理費		40,500,000	33,476,008	7,023,992	
	人件費	28,000,000	24,261,445	3,738,555	
	賃借料	6,000,000	5,654,832	345,168	
	通信交通費	1,500,000	1,081,820	418,180	
予備費	事務雑費	5,000,000	2,477,911	2,522,089	
	予備費	6,121,637	0	6,121,637	
当期支出額合計 (C)		215,621,637	130,546,152	85,075,485	
当期収支差額 (A) - (C)		△ 10,381,637	34,140,848	△ 44,522,485	
次期繰越収支差額 (B) - (C)		0	44,522,485	△ 44,522,485	

正味財産増減計算書

平成19年4月1日から平成20年3月31日

単位:円

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
修習料収入	153,498,000		
講義料収入	53,760,000		
基本演習収入	56,130,000		
審査料収入	43,608,000		
修了考査料収入	9,870,000		
修了考査料収入	9,870,000		
雑収益	1,319,000		
雑収入	1,319,000		
経常収益合計	164,687,000		
(2)経常費用			
事業費	97,070,144		
会場費	39,153,339		
教材費	8,854,247		
講師謝金	12,969,675		
審査費	30,396,243		
印刷費	2,058,067		
郵送費	2,791,156		
システム運用費	0		
旅費交通費	21,560		
雑費	825,857		
管理費	33,476,008		
人件費	24,261,445		
賃借料	5,654,832		
通信交通費	1,081,820		
事務雑費	2,477,911		
予備費	0		
予備費	0		
経常費用合計	130,546,152		
当期経常増減額	34,140,848		
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益	0		
経常外収益合計	0		
(2)経常外費用	0		
経常外費用合計	0		
当期経常外増減額	0		
当期一般正味財産増減額	34,140,848		
一般正味財産期首残高	10,381,637		
一般正味財産期末残高	44,522,485		
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0		
指定正味財産期首残高	0		
指定正味財産期末残高	0		
III 正味財産期末残高	44,522,485		

※本年度は、新公益法人会計基準採用初年度のため前年度実績は記載しておりません。

貸借対照表

平成20年3月31日

単位:円

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	86,943,410		
前払金	6,465,375		
流動資産合計	93,408,785		
2.固定資産			
(1)特定資産	0		
(2)その他固定資産	0		
固定資産合計	0		
資産合計	93,408,785		
II 負債の部			
1.流動負債			
前受金	48,374,000		
預り金	512,300		
流動負債合計	48,886,300		
2.固定負債	0		
固定負債合計	0		
負債合計	48,886,300		
III 正味財産の部			
1.指定正味財産	0		
2.一般正味財産	44,522,485		
正味財産合計	44,522,485		
負債及び正味財産合計	93,408,785		

※本年度は、新公益法人会計基準採用初年度のため前年度実績は記載していません。

財産目録

平成20年3月31日

単位:円

科 目		金 額	
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
普通預金	みずほ銀行虎ノ門支店	86,943,410	
前払金	実務修習会場予約金	6,465,375	
流動資産合計			93,408,785
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
		0	
(2) その他固定資産			
		0	
固定資産合計			0
資産合計			93,408,785
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	平成20年度実務修習受講料	48,374,000	
預り金	源泉税	512,300	
流動負債合計			48,886,300
2. 固定負債			
		0	
固定負債合計			0
負債合計			48,886,300
正味財産			44,522,485

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 当期から「公益法人会計基準」(平成16年10月14日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ)を採用している。

(2) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込み方式によっている。

2. 収支計算書の資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収金、立替金、前払金、仮払金、前受金、未払金、及び預り金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は次のとおりである。

単位:円

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	136,071,437	86,943,410
前払金	0	6,465,375
合 計	136,071,437	93,408,785
前受金	125,140,000	48,374,000
預り金	549,800	512,300
合 計	125,689,800	48,886,300
次期繰越収支差額	10,381,637	44,522,485